

owariasahi

sango station



# REPORT BOOK

レポートブック



## お問い合わせ

市役所三郷駅周辺整備推進室 TEL:0561-76-8182

<https://sites.google.com/view/35proj/home>

三郷駅前まち育てプロジェクト

@35proj

<https://www.facebook.com/groups/35proj>



Webサイト



Facebookグループ

2022年2月23日発行

©三郷駅前まち育てプロジェクト／尾張旭市役所／愛知県立芸術大学

三郷駅前  
まち育て  
プロジェクト

# 35 三郷駅前 まち育て プロジェクト REPORT BOOK

レポートブック

## もくじ

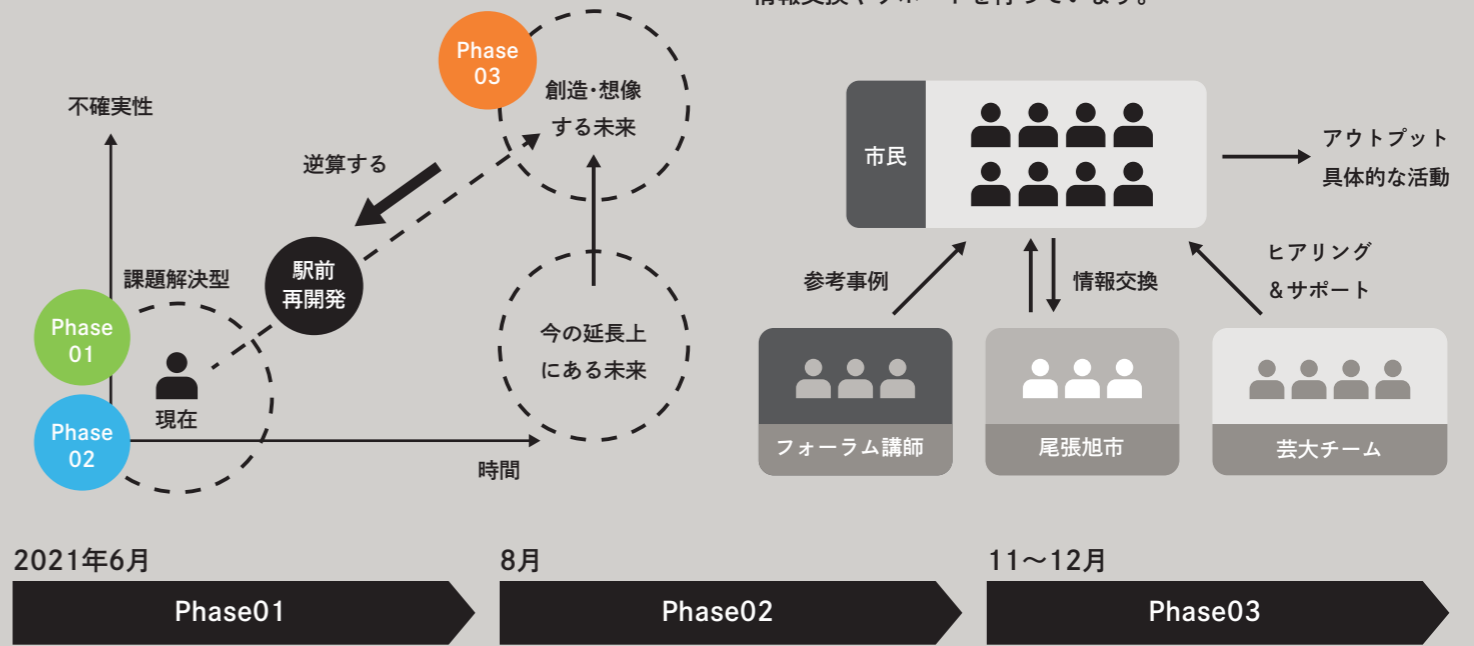
- 1.三郷駅前まち育てプロジェクトとは? ..... p3
- 2.まち育てワークショップ①(Phase02) ..... p4,5
- 3.まち育てワークショップ②(Phase03-DAY1) ..... p6
- 4.まち育てワークショップ③(Phase03-DAY2) ..... p7
- 5.MIRAI MAP(ミライマップ) ..... p8,9
- 6.これからの三郷のまち育て ..... p10,11

## 三郷駅前まち育てプロジェクトとは？

三郷駅前まち育てプロジェクトは、三郷駅前の再開発に向けて地域住民の願いや実現したい活動をサポートすべく、尾張旭市と愛知県立芸術大学が共同で行うまちづくり支援プロジェクトです。

キックオフイベントにあたる「三郷駅前まち育てフォーラム」(Phase01)では、まちづくりの専門家をゲストに迎え、自治体・地

権者・地域住民それぞれに必要な考え方や、他地域の事例を学びました。また、住民参加型のワークショップ(Phase02,03)では、現状を整理・可視化し、理想の未来へ進むための道筋を捉え、新しい活動や事業を構想するためのディスカッションとアイデア出しを行いました。まち育てプロジェクトのチームは、市民の皆さんが積極的にアイデアをアウトプットし、主体的に活動できるよう、情報交換やサポートを行っています。



**HOP** 三郷駅前まち育てフォーラム

まちづくりの専門家から他の地域での事例を学び、市民一人一人に街を変える力があることを認識しました。

YouTubeでフォーラムを視聴できます

**STEP** 三郷駅前まち育てワークショップ

日々の暮らしを振り返ることで、三郷らしさ(良いところや問題点)を明らかにしました。

詳細は P4~P5へ

**JUMP** 三郷駅前まち育てワークショップ

様々な角度から三郷の未来を考え、またその未来に近づくためのアイデアを出し合いました。

詳細は P6~P7へ

参加者数  
31名  
(小学生6名)

## ワークショップのアイデアカード



アイデアカードをもとに「三郷らしさ」について議論しました。表面には、住民や地権者の方へのインタビューから抽出したキーワードとイラスト、裏面には補足説明として生の声がかかれています。

## 三郷のアイデンティティを考える

三郷の「らしさ」を可視化するワークショップを実施し、職業、年齢問わず10代から70代までの幅広い世代の方々にご参加いただきました。6チームに分かれてアイデアカードをもとに三郷周辺での生活体験やエピソードを共有し、簡単な4コマ漫画風ストーリーボードを作成。この原案をもとに、愛知県立芸術大学デザイン専攻の学生が中心となって漫画を制作しました。

## 三郷らしさを表す5つのキーワード

ワークショップ後、プロジェクトチームで三郷らしさを表す要素を分析しました。三郷での暮らしをストーリー化することで見えてきた市民の皆さんのコメントを汲み取り、5つの「らしさ」が見えてきました。

1. 子育てしやすい街

2. 人のつながりがある街

3. 身近に自然がある街

4. ちょうどいい街

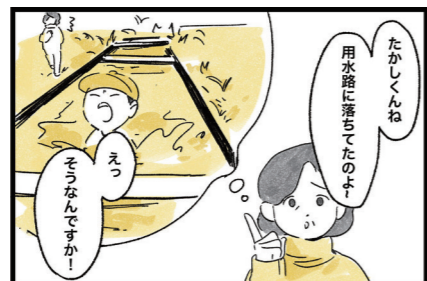
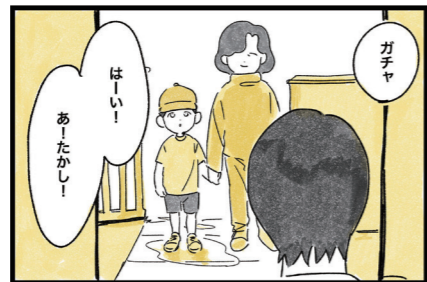
5. アクセスしやすい街

### 変わるものと変わらないもの



変わってほしくないものがある

### 近くの誰かが助けてくれる



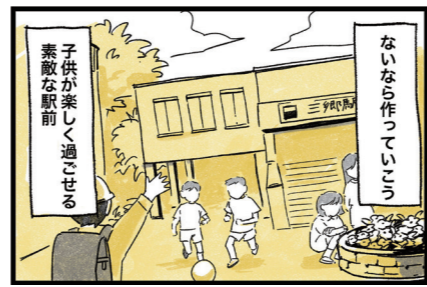
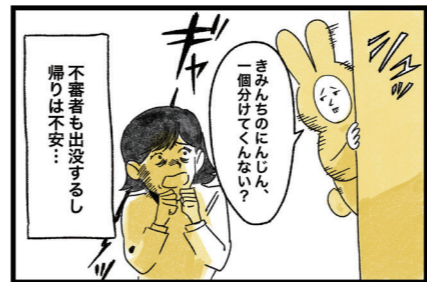
助け合うご近所・人の温かさ

### 渋滞で台無し



三郷駅といえば渋滞...いつ解消するのか

### 子育てタウンの駅前



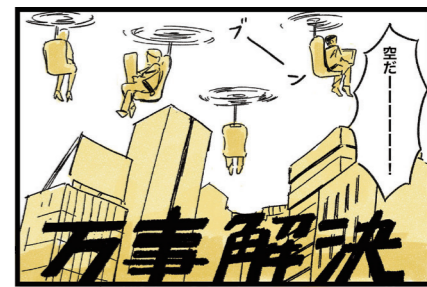
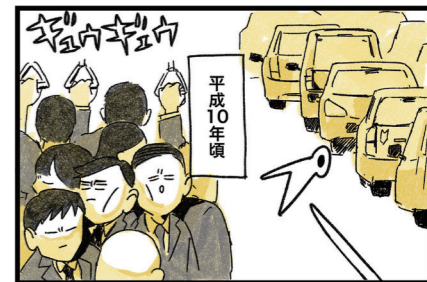
子育てしやすいまちの中心、駅前

### いつか、帰ってきたいくなるまち



田園や自然が大切だったと気づく

### 空が広いフロンティア



DXが切り開く未来

# 35 三郷駅前 まち育て ワークショップ

## Day1

### 未来を知るインプットDAY

将来のテクノロジーや社会課題など、未来に起こるであろうことをインプットしました。

参加者数

27名  
(小学生8名)

### 私たちの未来を考える

初日の未来を知るインプットDAYでは、「2040年問題」「気候変動」といった社会課題や、「DX」「次世代モビリティ」といったテクノロジーやライフスタイルに関するテーマをもとに意見を出し合いました。これらのインプットを経て生まれた、未来の三郷駅周辺地域の15のアイデアをご紹介します。

#### 8つのテーマ

2040年問題

気候変動

持続可能性

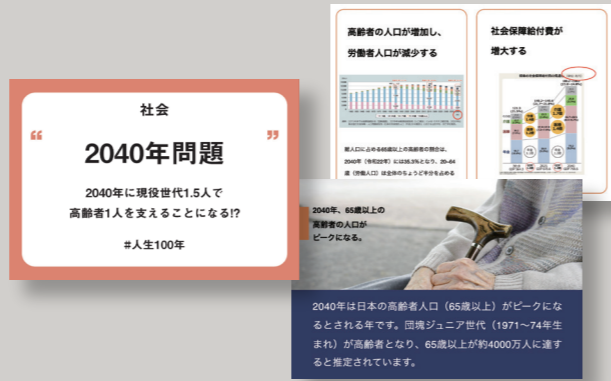
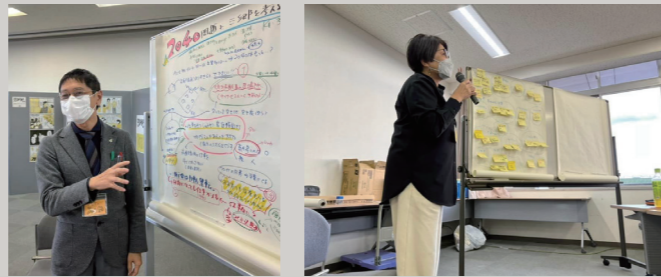
ワークスタイルの変化

DX

共生社会

次世代モビリティ

コンパクトシティ



## Day2

### 未来を考えるアウトプットDAY

三郷駅周辺の未来について考え、具体的なストーリーをアウトプットしました。

参加者数

25名  
(小学生6名)

### 三郷の未来を考える

2日目の未来を考えるアウトプットDAYでは、Day1でのインプットや生まれた15のアイデアと、Phase02での分析で明らかになった「5つの三郷らしさ」とを掛け合わせ、三郷駅周辺地域の具体的な未来のストーリーがたくさん生まれました。

#### アイデアを深掘りするパネルディスカッション



#### DAY1で生まれた15ideasの復習



#### グループワーク



#### グループワークの結果生まれた様々な未来ストーリー



生まれた未来ストーリーは、三郷駅周辺の地図上にアウトプットされ、ワークショップ参加者による投票で上位のストーリーを共有しました。共感の多かったストーリーをプロジェクトチームで集約、再解釈し、次ページのMIRAI MAPにまとめました。



## 15 ideas

インプットとディスカッションの結果生まれた15のアイデア

中心部と外縁部  
住み替え循環

家庭と仕事の関係  
ON/OFF支援

個人～みんな  
シェアリング

働き方×学び方

中心部と外縁部を  
繋ぐ中間部が大事

強化と教育  
災害レジリエンス\*

意味のある消費  
意味のある生産

移動と生活を重視  
非高層まちづくり

駅前大規模商施設  
の公共空間化

人の繋がり拡大  
スマート送迎

体験で学ぶ  
教育DX

学童\*から学ぶ  
地域共生施設

埋蔵労働力\*活用の  
社会復帰支援

市民と森林公園  
フォレストリング\*

活動を支える  
新コミュニティ

\*学童保育施設が地域共生の現場となっていることを指します


\*活かされていない潜在的な労働力

\*人を含めた大小様々な生き物の共存  
自然本来の森の生態系という意味

# MIRAI MAP


## 三郷のミライ、こうしたい！

ワークショップで多くの共感を集めたストーリーを集約し、三郷駅周辺の「ミライマップ」にまとめました。

ワークショップ参加者による投票で上位のストーリー


### 2. 森林公園をもっと活かす

森林公園通りを商店エリアへ。駅から森林公園までを魅力的にして、森林公園まで楽しく行ける。




### 4. 自然とつながる新たな骨格

森林公園通りを矢田川から森林公園まで緑溢れる公園道路でつなげる。自然がつながり、市民がランニング散歩で楽しめるルート。ランニングステーションやカフェなどがあって走りたくなる街。




### 5. 歩いて暮らせるお買い物タウン

駅南のイトーヨーカドーの周辺を「歩いてお買い物エリア」とし、車は周辺のパーキングに止めて素敵な街並みの散歩を楽しみながら買い物する。段差がない、車椅子でも歩きやすい、歩行者用道路。花が咲いて緑がある。



### 1. 異文化つながる楽しい防災

森林公園や矢田川、小学校でキャンプや焚き火ができて、だれでも参加できる防災キャンプもやってみたい。




### 3. 人情あふれる「35ichiba」

人との繋がりを感じられる商店街。コミュニケーションが自然に生まれる商売がしたい。




### 6. 子ども目線のまちづくり

買物中でも小学生も楽しい、退屈しない場所が欲しい。ヤマナカやイトーヨーカドーへお母さんと行くと子どもたちは退屈です！親の用事を済ませている間に、「くつろげるベンチ」や「公園のような遊べる場所」があったらいいな。




### 7. 市内移住ができるまち

若者世代・子育て世代・高齢者世代など、それぞれの生活スタイルに合う暮らしができるようにエリア分けがされていて、ライフステージに合わせて移住ができる。また、行政が市内の移動をサポートしてくれる。



### 8. 人があんまり集まりすぎない

ゴミが少なく、安全で、居心地が良く、ホッとできる駅前。コンクリートではなく木のぬくもり。夜も安全に、待ち合わせができたらいいな。



### 9. 自由に活動できるオープンな空間

歩行者や自転車が安心して往来できる道がある。その先に小さい子が自転車に乗る練習ができる場所がある。



### 10. 情報センターから生まれる繋がり

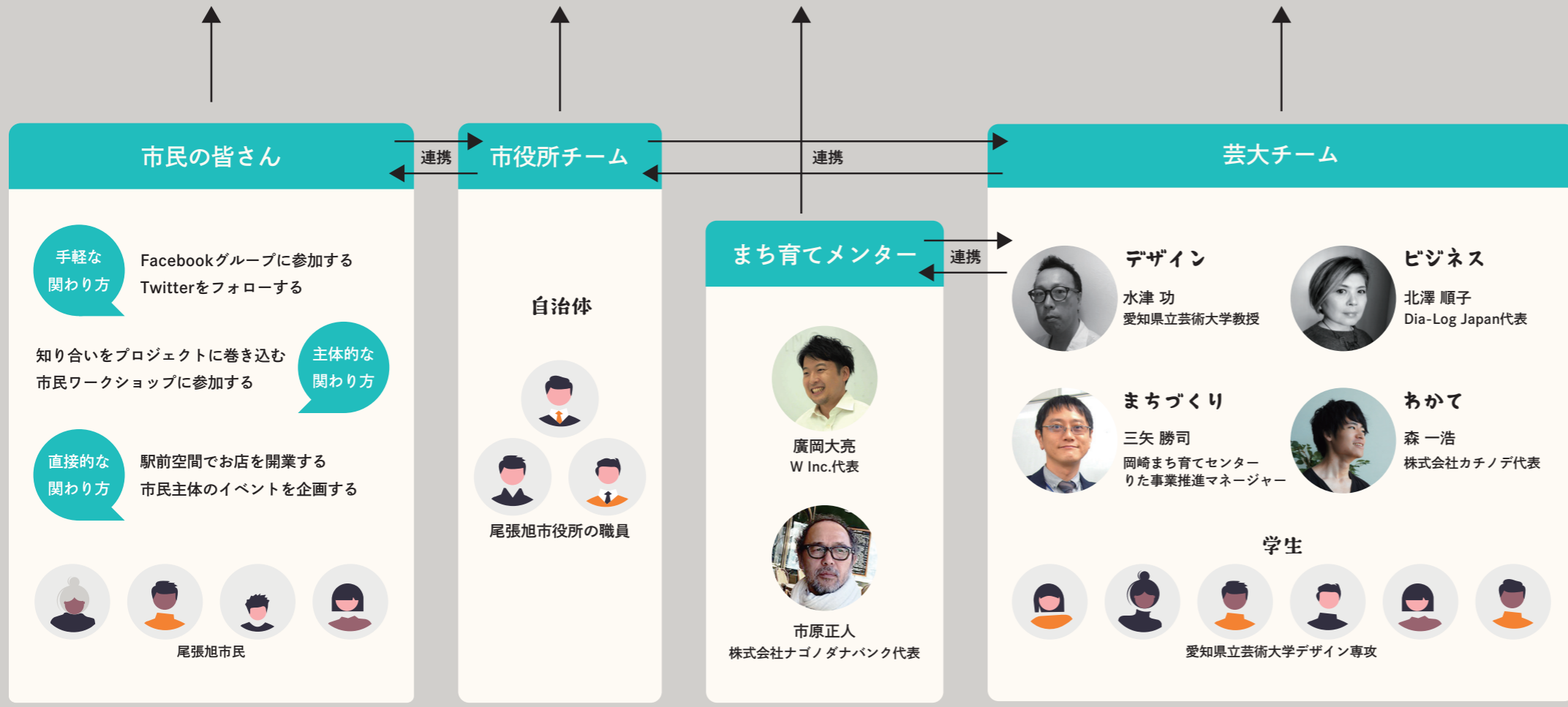
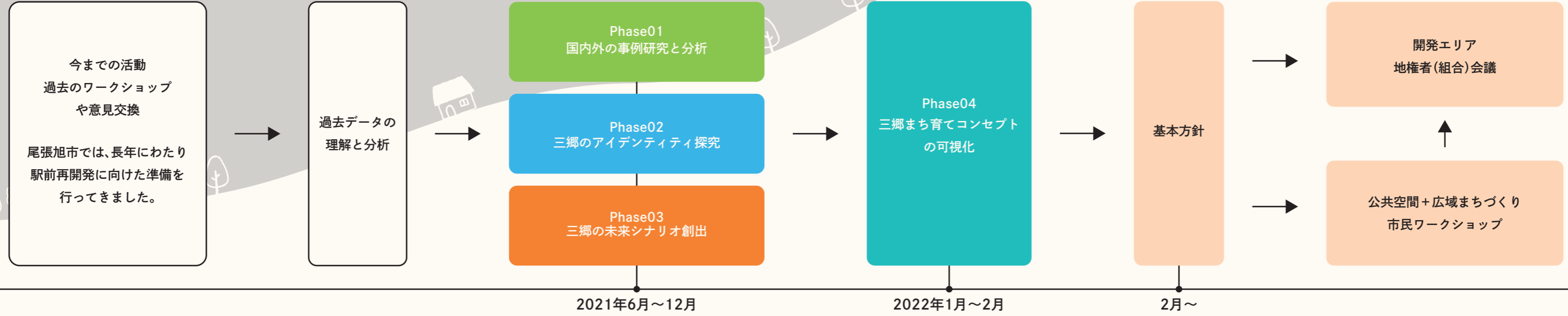
街や地域の情報を駅前でキャッチアップ。ネットに強くない人でも最新のお店やイベントの情報を集めることができる。



# これからの三郷のまち育て

これから、三郷駅前再開発が本格的にスタートしますが、まち育ての主役は市民の皆さんです。実際の再開発自体は、地元地権者の皆さんからなる組合や尾張旭市主導で進めることとなりますが、自分たちの住んでいる街の大きな変革をすべて任せてしまうのはもったいない。再開発の背景には、必ず「地域住民にとってこういう街でありたい!」という想いが反映されるべきであり、同時に、駅前空間だけでなくその周辺地域も大きく変わるチャンスです。

三郷駅前まち育てプロジェクトで得られた知識、気づきや発見、出会った人、生まれたアイデアが、皆さんの「やりたい」を実現するためのタネとなることでしょう。いまある暮らしがもっと快適に、そして、もっと好きになれるまちへ育てていくために、三郷駅前まち育てプロジェクトはこれからも続きます。



**ユラレ** 次世代のまち育てで重要とされるキーワード  
 ワークショップから提案されたまち育て構想は、次世代まち育てで重要とされるキーワードが参考となります。

- コンパクトシティ(立地適正化計画)**  
 尾張旭市に限らず人口減少が進んでいます。近い将来、少なくなった人口で現在の都市サービスを維持しようとすると、市民一人当たりの負担が大きく膨らんでしまいます。そこで、医療や福祉以外の都市基盤を効率よくコンパクトに集約しようというまちづくりが始まります。これは借金をせず税収で健全に運営できる都市の形に修正する話から始まったものですが、一方で無秩序に都市開発が拡大して自然環境や個性ある地域性、暮らしの多様性が失われてきたことに対する巻き返しのチャンスでもあります。
- 駅まち空間**  
 国交省が2021年に発表した「駅まち空間」という考え方は、駅舎を含む再開発エリアの敷地内にとどまらず、その敷地周辺のまち全体を良くすることを想定して、敷地内の作り方、使い方を考えようとするものです。三郷駅前まち育てに照らし合わせると、敷地北側に位置する森林公園や南側にある矢田川、敷地周辺に点在する商業施設等を包含して、まち育ての構想を考えることが重要です。
- ストリートデザイン**  
 近年の都市デザインでは、歩行者に優しい、歩いて楽しい「みち空間」を創り出すことが重要とされています。三郷駅前も、敷地内に閉じずに「みち空間」を形成して、敷地外とつながることが重要です。例えば、再開発エリアの区域外のまちにも人の居場所が生み出される(にぎわいが分散配置される)ことを想定して、そこと再開発エリア内の商業機能(横丁、市場)がつながる「通り」を形成することが重要となります。